

第7回 ワイヤーマッシュ柵は格子の大きさにもご注意を！

農研機構 畜産研究部門 動物行動管理研究領域 堂山宗一郎氏

岩手県内では、ワイヤーマッシュ柵がまだあまり使用されていないためピンとこないかもしれませんが、ワイヤーマッシュの格子の大きさ(網目の大きさ)にはいくつか種類があります。イノシシやシカの被害が増えると、ホームセンターでワイヤーマッシュが売られ始めますが、ほとんどが15cm×15cm 格子のものです。15cm 格子を柵に使用するといくつかの問題が発生します。

体の小さな生後3ヶ月くらいまでのイノシシの子どもは、格子をすり抜けて侵入してしまいます。子どもだけであればそれほど大きな被害は発生しませんが、子どもの近くには母親のイノシシが必ずいます。母イノシシは、子どもだけが柵の中に入ると自分も入りたくなります。そうすると、普通であればイノシシが侵入を諦める強度の柵でも、無理やり壊されてしまう可能性が出てきます。また、シカでは、大人のメスであれば15cm 格子に簡単に頭を入れることができます。そのまま首の根本付近まで柵の

中に入れることもでき、柵沿いの作物を食べられてしまったという事例もあります。

このような失敗をしないためにも、イノシシ・シカ対策で使うワイヤーマッシュは、10cm より小さな格子の物を使ってください。

その他にも、裏表に注意する、支柱との結束位置に注意するなど、ワイヤーマッシュ柵を設置する際の注意点はいくつかあります。試しに設置してみたい方は、県や市町村の担当者に相談して侵入防止効果が十分に発揮できるように設置してください。

